

## 「防災塾・だるま」9月定例会 議事録

<http://darumajin.sakura.ne.jp>

- ◆日時 : 2019年9月27日 14時15分~15時45分 司会: 田中 晃
- ◆場所 : 神奈川大学1号館308-1
- ◆出席者 : 池田、荻本、高松、中島、山口(章)、田中(喜)、山田(美)、片山、田中(晃)、玉井  
佐々木、山田(富)、稲垣、早川、紅林、中村(誠)、江上夫妻、鷺山 計19名(敬称略)

- 配布資料 1. 第119回定例会議事次第 2. 大地震による首都圏の最悪被害想定
- 3. 「第14回コーディネーター養成講座」チラシ 4. 防災塾・だるま 2019年9月 情報
- 5. 2020年カレンダー(案) 6. 「防災塾・だるまの今後」第2回検討委員会報告
- 7. 「防災塾・だるま」役員の業務分担について
- 8. 「大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題」神大後期連続講演会
- 9. 10月定例会テーマ資料(被災直後の人的被害・自主防災でどこまでやるの?)
- 10. 第170回談義の会資料「主な防災ゲーム(J-DAG・K-ZAG・防災めぐり)」
- 11. 「かながわ人と智ネットワーク」検討会議事録
- 12. だるま組織検討に向けたアンケート調査(案) 13. 最近の報道資料(新聞等)
- <配布チラシ> 1. さがみはら防災マイスター連絡協議会主催J-DAG(12/1(日))

- 【定例会意見交換】テーマ:「大地震による首都圏の最悪被害想定」(資料2)・・・片山、江上、  
稲垣、早川、高松、山口(章)、鷺山(主な発言者)
- ・阪神淡路大震災の時、交通機関での死亡者は50人以下だった。東日本の地震が発生したのは昼間だった。これは不幸中の幸いで、避難する際に方向が分からないということが無かった。横浜で30年以内に82%の発生可能性があると言われる直下地震では、M7~7.9の地震が起こりうる。想定犠牲者3万人と言われているが、2桁違うのではないか。関東大震災当時と違って、東京湾には石油コンビナートが多くあり、鉄道が桁違いに発達し、高層ビルなど過去存在しなかった施設によって犠牲になる人は算定されていない。人口が7~8倍になっていることを考慮すると、73万人の犠牲者が想定されても不思議ではない。今、関東大震災級の地震が起きたらどんな被害が想定されるか考えていただきたい
- ・想定として津波、津波の後の関連死については、行政では考慮されていないようだ
- ・過去想定されていなかった被害については、被害事例があって被害者数などの想定数が増加している。また、東京の江東5区(墨田、江東、足立、葛飾、江戸川)では、5区で想定される大規模水害について、「避難計画」等がH30年8月発表され、250万人に避難を促している。
- ・首都圏は人口3500万人と集中しており、火事の場合火に囲まれたら逃げられない場合がある
- ・想定に惑わされないことが大切で、自分で考えておくことが必要。高齢者は、自分が「助けられる方法」「助かる方法」を考えておくことが必要。その時に身内が駆け付けられる訳ではない
- ・3.11の時、帰宅困難者が多数出たことが話題となったが、当時火災は発生しなかった。この次の震災時に火災が発生すれば状況は3.11とは異なり、過去の想定とは違ってくる
- ・最近では想定外の災害が多いが、一人一人がもっと考えて訓練をしておくことが必要。行政の対策が悪いとか、想定が甘いとかでなく、個人が想定して備えておく必要があるのではないか
- ・広域避難場所の設定は現実的か?大火災でも安全なマンションに、広域避難場所の指定は必要か
- ・風向きによっては他の区へ避難した方が安全と考えられるが、自治体は1か所しか指定しない

【話題】「スーパーJチャンネル(TV朝日)」放映DVD紹介・・・稲垣・池田

- ・減災w/委員メンバーの人員確保? ・委員の半数は会長が指名、後は個人的に依頼した

### 【I 運営関係】

1. 会員、会計関係・・・中島
  - ・会員数(9月現在): 121名
2. HP・情報提供など
  - ① HPの更新: 8月以降・・・中島
  - ② 神大後期講演会: 「大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題 10/19~11/30」(資料8)
  - ③ 「毎月の情報: 9月」(資料4)
3. 「防災塾・だるまの今後」第2回検討委員会報告(資料6)・・・片山
  - ・荻本先生の退官に伴い大学施設を利用できなくなる。だるまの今後について検討するため全会員にアンケートを実施し、結果を踏まえて総会で提案できるように準備を進める

4. 役員の役割分担制について（資料7）・・・田中（晃）
- ・だるま運営のための業務で月担当の役員が分担して実施する業務（役員会、定例会、談義の会：6月から試行して問題なし）と専任の役員で実施する業務（HP、議事録、チラシ作成等）を確認。会員からの活動報告や資料提供の窓口は副塾長の4名

## 【II 主催・共催事業など】

1. 実践的防災まちづくり]ディネーター養成講座・・・中村（誠）、稲垣
  - ・受講申し込み者が少なく、会員で未だ申込んでいない人の申し込みを依頼
2. J-DAG、3BWGの活動（配布チラシ）・・・片山、稲垣
  - ・相模原市で開催(12/1)、協力者数名募集。埼玉県鶴ヶ島市で来年2月開催予定
  - ・「だるま防災・減災文書事例集」（3BWG活動の成果）、だるまHPで公開の準備中
3. 「かながわ人と智をつなぐ防災・減災ネットワーク」（資料11）・・・山田（美）、荏本
  - ・神大フェスタ（11/2）に佐藤ゼミが出展。鷲山氏講演予定。だるま会員の協力を依頼
  - ・防災ミテイング（12/21）を関東学院大学で実施。学院副学長・市大・東海大教授の講演。
  - ・学生の自主的活動には大学は協力する。学生には、地域の経験が浅いので会員の協力が必要

## 【III 協力・参加・情報・その他】

- ・「台風15号について（関小ブロック防災協議会）」（だるまHP：Topics参照）・・・江上鎌倉市では停電で防災無線が使えず広報車が出た。状況は朝になって分かったというのが実情。自衛隊の派遣要請についても被害状況が分からないので難しかった面がある。被害ゼロを目指すには「人モノ金」が必要

## 【IV 今後の予定】

1. 2019年10月11日(金)川崎市健康安全研究所見学会&談義会 月担当:山田(美)、池田、早川
  - ・施設見学会 30名(先着順) 13:15-14:15 担当:池田
  - 集合・出発(川崎駅東口時計台)11:50、9/27定例会時点で10名参加可能
  - ・第171回談義の会 50名 14:30-16:00 記録担当:中島
  - テーマ:「感染症と危機管理について」 講師:岡部信彦氏(川崎市健康安全研究所所長)
  - 場所:川崎市健康安全研究所(川崎市川崎区殿町3-25-13、川崎生命科学・環境研究所2階)
  - 広報:9月10日付朝日マリオン掲載、鎌倉「萌」9月号掲載
  - ・懇親会(講師を囲む) 17:45~(川崎駅近郊を予定)
2. 2019年10月例会 10月25日(金)1号館308-1 月担当:稲垣、山田(美)
  - ・3BWGプロジェクト 13:00-14:00 担当:片山
  - ・定例会 14:15-15:45 記録担当:中村
  - テーマ:「都市型大地震...自主防災で何処までやるの?」 担当:稲垣
  - ・役員会 10月1日(火) 10:00-12:30 851C 記録担当:佐藤
  - ・資料準備(当日) 10月25日(金) 12:30- 851C
3. 2019年11月例会 11月29日(金)1号館308-1 月担当:山田(美)、高松
  - ・3BWGプロジェクト 13:00-14:00 担当:片山
  - ・定例会 14:15-15:45 記録担当:中村
  - テーマ:「台風15号の各地域の被害状況とこれからの対策 ~そこから見えてくる必須の備えとは~」 担当:高松、山田(美)
  - ・第172回談義の会 16:00-17:30 記録担当:紅林
  - テーマ:「チーム学校」が地域と連携した災害に強いまちづくり 講師:鷲山龍太郎氏(地学会会員)
  - ・役員会 11月5日(火) 10:00-12:30 851C 記録担当:佐藤
  - ・資料準備(当日) 11月29日(金) 12:30- 851C
5. 2019年12月例会 12月13日(金)1号館301 月担当:伊東、田中(栄)、山口(章)
  - ・3BWGプロジェクト 休会
  - \*以下役員会以外、時間は未確定
  - ・定例会 テーマ:「未定」 担当:未定
  - ・第173回談義の会 記録担当:紅林
  - テーマ:「日本と世界各地の主に地震被災地を訪ねて」 講師:荏本塾長
  - ・懇親会 場所:1号館806(定例会会場から換わります)
  - ・役員会 12月3日(火) 10:00-12:30 851C 記録担当:佐藤

(記録：中村誠)